

# 経営比較分析表

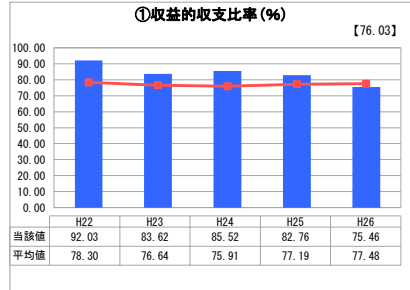
岐阜県 高山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D1
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	16.56	2,570

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
91,571	2,177.61	42.05
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,062	56.50	266.58

グラフ凡例	
■	当該団体の値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



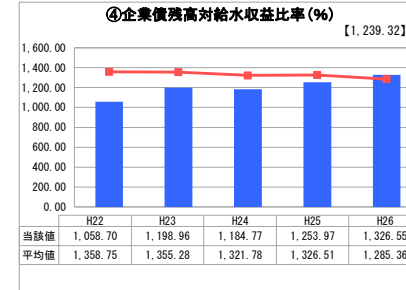
「単年度の収支」



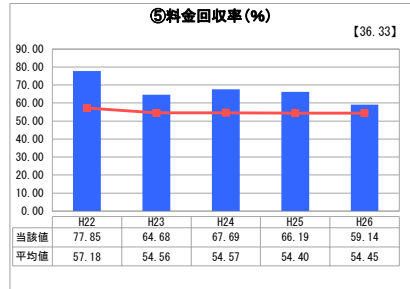
「累積欠損」



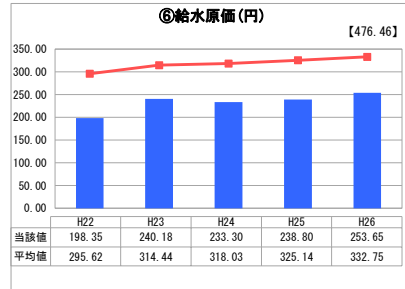
「支払能力」



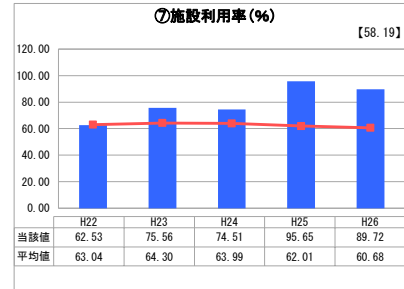
「債務残高」



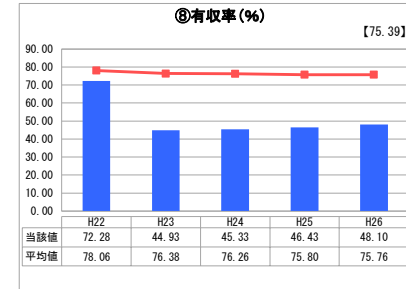
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

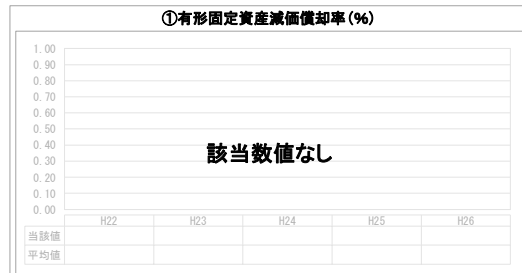


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

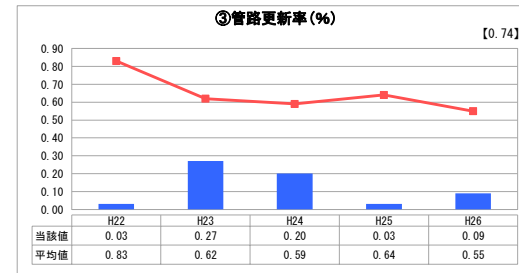
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

残塩確保等地理的状況のため有収率が低いが、漏水調査及び修繕等により積極的に有収率向上に取り組んでいる。  
平成27年度から水道事業と経営統合しており簡易水道事業は消滅するため、今後は水道事業の指標により経営分析を行うこととなる。

### 2. 老朽化の状況について

管路更新率が低いが、管路等の更新基準及び更新の優先順位を定めて管路延長に捉われず重要なものから更新しているためであり、計画的に長寿命化及び耐震化に取り組んでいる。  
平成27年度から水道事業と経営統合しており簡易水道事業は消滅するため、今後は水道事業の指標により分析を行うこととなる。

## 全体総括

高山市第八次総合計画に対応する水道事業整備5か年計画において、中期的な視野で必要となる事業について事業費の低減と平準化及び投資と財源の均衡化を図りながら実施することとしている。  
平成27年度から水道事業と経営統合しており簡易水道事業は消滅するため、今後は水道事業の指標により経営分析を行うこととなる。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。